

積算基準	土木
現場中間検査	不要
工場等派遣中間検査	不要
樹木保険加入	不要

工 事 設 計 書

事業年度	令和 8年度				
設計年月	令和 年 月				
予算科目	款	項	目	節	
工事場所	京都市南区上鳥羽北花名町他 地内				
路線名又は河川名等					
工事名	舗装修繕工事 (久世橋通)				
工期	契約日の翌日から令和 9年 2月26日まで				
事業課(所)名	南部土木みどり事務所	単価使用年月	令和 年 月		
工事番号		歩掛適用年月	令和 年 月		
変更回数		基準適用年月	令和 年 月		
主工種		単価地区			
前払金支出		調整区分			

京都市 建設局

チェック欄

工事概要

工事延長				m	346.5
路面切削工	式	1	アスファルト舗装工(橋りょう部)	m2	220
排水性舗装工	m2	4,270	舗装打換え工	m2	233
排水構造物工	式	1	橋面防水工	m2	220

施工理由

本工事は、久世橋通において老朽化した舗装の修繕及び橋りょうの防水を行うことにより、快適な走行区間を創出するとともに舗装及び橋りょうの長寿命化を図るものである。

		設計額		請負額	
		金額	増減額	金額	増減額
工	事	前回	円	円	円
		今回	円	円	
内	工事価格	前回	円	円	円
		今回	円	円	
訳	消費税相当額	前回	円	円	円
		今回	円	円	
支	給品費	前回	円	円	円
		今回	円	円	

京都市 建設局

積算参考資料（間接費補正一覧）

単価使用年月	2026年6月	
歩掛適用年月	2026年6月	
基準適用年月	2026年6月	
単価地区	2601: I地区	
調整区分	本附帯工事	
共通仮設費（率計上）		
主たる工種	06:舗装工事	
施工地域等補正	大都市（2）	1.5
ICT施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
現場管理費		
施工地域等補正	大都市（2）	1.2
ICT施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

設計内訳書（舗裝修繕工事）

工事名	舗裝修繕工事（久世橋通）				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
舗装		式	1				
舗装工		式	1				
路面切削工		式	1				
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm以下	m	160				単 1号(概)
路面切削	施工区分・平均切削深さ:全面切削6cmを超え12cm以下,段差すりつけ撤去作業:有り	m2	4,250				単 2号(概)
殻運搬(路面切削)	殻種別:アスファルト殻(切削)	m3	425				単 3号(概)
殻処分	殻種別:アスファルト殻(切削)	m3	425				単 4号
アスファルト舗装工 (橋りょう部)		式	1				
基層(車道・路肩部)	材料種類:再生密粒度アスファルト(13),舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	m2	220				単 5号(概)
表層(車道・路肩部)	材料種類:再生密粒度アスファルト(13),舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	m2	220				単 6号(概)
排水性舗装工		式	1				
基層(車道・路肩部)	材料種類:再生粗粒度アスコン(20),舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	m2	3,950				単 7号
排水性舗装・表層(車道・路肩部)	材料種類:ポ-ラスアスファルト(13),舗装厚:50mm,平均幅員:2.4m超	m2	4,270				単 8号

設計内訳書（舗装修繕工事）

工事名	舗装修繕工事（久世橋通）				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
舗装打換え工		式	1				
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm を超え30cm以下	m	41				単 9号(概)
舗装版破砕	舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装版厚:20cm	m2	233				単 10号(概)
殻運搬	殻種別:アスファルト殻(掘削)	m3	47				単 11号(概)
殻処分	殻種別:アスファルト殻(掘削)	m3	47				単 12号
不陸整正	補充材料の有無:有,平均厚さ:30mm,補充材料:RM-30	m2	233				単 13号(概)
上層路盤	路盤材種類:路盤材(瀝青安定処理材各種),路盤材 規格:再生アスファルト安定処理(25),仕上り厚:150mm	m2	233				単 14号(概)
排水構造物工		式	1				
側溝工		式	1				
現場打ち街渠版	基礎砕石再利用	m	71				単 15号(概)
集水柵・マンホール工		式	1				
街渠柵上部改修		箇所	24				単 16号(概)
縁石工		式	1				

設計内訳書（舗裝修繕工事）

工事名	舗裝修繕工事（久世橋通）				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
縁石工		式	1				
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ	ﾌﾟﾛｯｸ規格:A種(一般部),基礎砕石再利用	m	5				単 17号(概)
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ	ﾌﾟﾛｯｸ規格:A種(段差部),基礎砕石再利用	m	1				単 18号(概)
歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ	ﾌﾟﾛｯｸ規格:A種(乗入部),基礎砕石再利用	m	4				単 19号(概)
区画線工		式	1				
区画線工		式	1				
溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	m	580				単 20号(概)
溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 45cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	m	62				単 21号(概)
溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:破線 15cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	m	240				単 22号(概)
溶融式区画線 (直進左折矢印)	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:矢印・記号・文字 15cm換算,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	箇所	2				単 23号(概)
溶融式区画線 (直進矢印)	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:矢印・記号・文字 15cm換算,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	箇所	2				単 24号(概)
溶融式区画線 (右折矢印)	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:矢印・記号・文字 15cm換算,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	箇所	2				単 25号(概)
溶融式区画線 (直進左折(右折)予告矢印)	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:矢印・記号・文字 15cm換算,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	箇所	2				単 26号(概)

設計内訳書（舗裝修繕工事）

工事名	舗裝修繕工事（久世橋通）				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
構造物撤去工		式	1				
構造物取壊し工		式	1				
構造物とりこわし	構造物区分:無筋構造物, 工法区分:機械施工	m3	8				単 27号(概)
殻運搬	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	8				単 28号(概)
殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	8				単 29号
現場発生品運搬	積込・荷卸含む	t	0.6				単 30号(概)
スクラップ	へび-H1	t	-0.6				単 31号(概)
仮設工		式	1				
舗装復旧工 (現場打ち街渠版施工箇所) (街渠柵上部改修箇所)		式	1				
舗装切断 (参考数量)	舗装版種別:アスファルト舗装版, アスファルト舗装版厚:15cm を超え30cm以下	m	95				単 32号(概)
舗装版破砕 (参考数量)	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:20cm	m2	43				単 33号(概)
殻運搬	殻種別:アスファルト殻(掘削)	m3	11				単 34号(概)
殻処分	殻種別:アスファルト殻(掘削)	m3	11				単 35号

設計内訳書（舗裝修繕工事）

工事名	舗裝修繕工事（久世橋通）				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
不陸整正 （参考数量）	補充材料の有無:無	m2	43				単 36号(概)
上層路盤(車道・路肩部) （参考数量）	路盤材種類:再生アスファルト安定処理(25),仕上り厚:100mm	m2	43				単 37号(概)
基層(車道・路肩部) （参考数量）	材料種類:再生粗粒度アスコン(20),舗装厚:50mm,平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	43				単 38号(概)
表層(車道・路肩部) （参考数量）	材料種類:再生粗粒度アスコン(20),舗装厚:50mm,平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	43				単 39号(概)
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	360				単 40号
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 設計内訳書の区分別の概略発注工 を除く直工の33.6%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				

設計内訳書（舗装修繕工事）

工事名	舗装修繕工事（久世橋通）				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
運搬費		式	1				
建設機械運搬費		台	2				単 41号
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

設計内訳書（橋りょう補修工事）

工事名	舗装修繕工事（久世橋通）				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁保全工事		式	1				
舗装工		式	1				
橋面防水工		式	1				
橋面防水	防水工種類：塗膜防水	m2	220				単 42号(概)
仮設工		式	1				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員		人日	2				単 43号
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 設計内訳書の区分別の概略発注工 を除く直工の1805.4%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				

設計内訳書（橋りょう補修工事）

工事名	舗装修繕工事（久世橋通）				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 1号	舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm以下	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	舗装版切断	アスファルト舗装版,15cm以下,全ての費用	m	1				
	CB430510							
	合計							
	単価						円/m	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 2号	路面切削	施工区分・平均切削深さ:全面切削6cmを超え12cm以下,段差すりつけ撤去作業:有り	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	路面切削	全面切削6cmを超え12cm以下,有り,全ての費用	m2	1				
	CB430010							
	合計							
	単価						円/m2	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 3号	殻運搬(路面切削)	殻種別:アスファルト殻(切削)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	CB430020	有り, 7.5km以下, 全ての費用	m3	1				
	合計							
	単価						円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 4号	殻処分	殻種別:アスファルト殻(切削)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	Z320100020001		m3	1				
	合計							
	単価						円/m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 5号	基層(車道・路肩部)	材料種類:再生密粒度アスファルト(13), 舗装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	基層(車道・路肩部)	3.0m超, 50mm, 再生密粒度アスコン(13), 無し, 全ての費用	m2	1				
	CB410240							
	合計							
	単価						円/m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 6号	表層(車道・路肩部)	材料種類:再生密粒度アスファルト(13), 舗装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	表層(車道・路肩部)	3.0m超, 50mm, 再生密粒度アスコン(13), タックコート PK-4, 全ての費用	m2	1				
	CB410260							
	合計							
	単価						円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 7号	基層(車道・路肩部)	材料種類:再生粗粒度アスコン(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
基層(車道・路肩部)		3.0m超, 50mm, 再生粗粒度アスコン(20), タックコート PK-4, 全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 8号	排水性舗装・表層(車道・路肩部)	材料種類:ポラスアスファルト(13), 舗装厚:50mm, 平均幅員:2.4m超	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
排水性舗装・表層(車道・路肩部)		2.4m以上, 50mm, 有り, 片側2車線以上, ポラスアスコン(13), タックコート PKR(コム入り)	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 9号	舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm を超え30cm以下	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版,15cmを超え30cm以下,全ての費用	m	1				
CB430510								
合計								
単価							円/m	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 10号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装版厚:20cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版,無し,必要,15cmを超え35cm以下,有り,全ての費用	m2	1				
CB430310								
合計								
単価							円/m2	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 11号	殻運搬	殻種別:アスファルト殻(掘削)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	殻運搬	舗装版破碎,機械(対策不要厚15cm超)又は必要,有り,7.0km以下,全ての費用	m3	1				
	CB227010							
	合計							
	単価						円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	殻処分	殻種別:アスファルト殻(掘削)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	処分費 As塊(掘削)		m3	1				
	Z320100022001							
	合計							
	単価						円/m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 13号	不陸整正	補充材料の有無:有,平均厚さ:30mm,補充材料:RM-30	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
不陸整正		有り,28mm以上34mm未満,再生粒度調整碎石 RM-30,全ての費用	m2	1				
CB410010								
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 14号	上層路盤	路盤材種類:路盤材(瀝青安定処理材各種),路盤材規格:再生アスファルト安定処理(25),仕上り厚:150mm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
上層路盤(車道・路肩部)		路盤材(瀝青安定処理材各種),3.0m超,75mm,プライムコート PK-3,全ての費用	m2	1				
CB410040								
上層路盤(車道・路肩部)		路盤材(瀝青安定処理材各種),3.0m超,75mm,タックコート PK-4,全ての費用	m2	1				
CB410040								
合計								
単価							円/m2	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 15号	現場打ち街渠版	基礎碎石再利用	単位	m	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	型枠	一般型枠, 小型構造物	m2	2				
	コンクリート	小型構造物, 人力打設, 18-8-40(高炉), 一般養生, 無し, 全ての費用	m3	0.92				
	目地板	30m2未満, 瀝青繊維質目地板t=10	m2	0.06				
	合計							
	単価						円/m	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 16号	街渠柵上部改修		単位	箇所	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	型枠	一般型枠, 小型構造物	m2	6.4				
	CB240210							
	コンクリート	小型構造物, 人力打設, 18-8-25(高炉), 一般養生, 無し, 全ての費用	m3	0.42				
	CB240010							
	蓋版	据付け, 無し, 蓋版(各種), 40kg/枚以下, 無し, 無し	枚	10				単 44号
	WB821430							
	鉄筋工[市場単価]	SD345 D13, 一般構造物, 10t未満, 無, 無, 無, 無, 補正無(鉄筋割合10%未満含む), 差筋及び杭頭処理	t	0.012				単 45号
	WB810010							
	目地板	30m2未満, 瀝青繊維質目地板t=10	m2	2.2				
	CB224710							
	硬質塩化ビニル管(薄肉管) VU-40		m	3				
	Z005002012							
	合計							
	単価							円/箇所

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 17号	歩車道境界ブロック	ブロック規格:A種(一般部),基礎砕石再利用	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック		設置,A種(150/170×200×600),無し,18-8-40(高炉),有り	m	1				
CB422510								
合計								
単価							円/m	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 18号	歩車道境界ブロック	ブロック規格:A種(段差部),基礎砕石再利用	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
歩車道境界ブロック		設置,各種(600mm以下,50kg未満),1.33個/m,無し,18-8-40(高炉),有り	m	1				
CB422510								
合計								
単価							円/m	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 19号	歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ	ﾌﾟﾛｯｸ規格:A種(乗入部),基礎砕石再利用	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	歩車道境界ﾌﾟﾛｯｸ	設置,各種(600mm以下,50kg未満),1.33個/m,無し,18-8-25(高炉),有り	m	1				
	CB422510							
	合計							
	単価						円/m	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 20号	溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	区画線設置	無し,溶融式手動,無し,実線 15cm,無し,1.5mm,有り,無し,含有量15~18%,白,アスファルト舗装,全ての費用	m	1				単 46号
	WB821210							
	合計							
	単価						円/m	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 21号	溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 45cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し,溶融式手動,無し,実線 45cm,無し,1.5mm,有り,無し,含有量15~18%,白,アスファルト舗装,全ての費用	m	1			単 47号	
合計								
単価							円/m	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 22号	溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:破線 15cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置		無し,溶融式手動,無し,破線 15cm,無し,1.5mm,有り,無し,含有量15~18%,白,アスファルト舗装,全ての費用	m	1			単 48号	
合計								
単価							円/m	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 23号	名称・規格	条件	単位	箇所	単位数量	金額	単価	摘要
	溶融式区画線 (直進左折矢印)	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:矢印・ 記号・文字 15cm換算,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装 :有り	単位	箇所	単位数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
	区画線設置 WB821210	無し,溶融式手動,無し,矢印・記号・文字 15cm換算 ,無し,1.5mm,有り,無し,含有量15~18%,白,アスファルト 舗装,全ての費用	m	8.91				単 49号
	合計							
	単価							円/箇所

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 24号	名称・規格	条件	単位	箇所	単位数量	金額	単価	摘要
	溶融式区画線 (直進矢印)	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:矢印・ 記号・文字 15cm換算,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装 :有り	単位	箇所	単位数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
	区画線設置 WB821210	無し,溶融式手動,無し,矢印・記号・文字 15cm換算 ,無し,1.5mm,有り,無し,含有量15~18%,白,アスファルト 舗装,全ての費用	m	6.25				単 49号
	合計							
	単価							円/箇所

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 25号	名称・規格	条件	単位	箇所	単価	金額	単価	摘要
	溶融式区画線 (右折矢印)	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:矢印・ 記号・文字 15cm換算,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装 :有り	単位	箇所	単価	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
	区画線設置 WB821210	無し,溶融式手動,無し,矢印・記号・文字 15cm換算 ,無し,1.5mm,有り,無し,含有量15~18%,白,アスファルト 舗装,全ての費用	m	6.66				単 49号
	合計							
	単価						円/箇所	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 26号	名称・規格	条件	単位	箇所	単価	金額	単価	摘要
	溶融式区画線 (直進左折(右折)予告矢印)	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:矢印・ 記号・文字 15cm換算,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装 :有り	単位	箇所	単価	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
	区画線設置 WB821210	無し,溶融式手動,無し,矢印・記号・文字 15cm換算 ,無し,1.5mm,有り,無し,含有量15~18%,白,アスファルト 舗装,全ての費用	m	7.91				単 49号
	合計							
	単価						円/箇所	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 27号	構造物とりこわし	構造物区分:無筋構造物, 工法区分:機械施工	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
構造物とりこわし		無筋構造物, 機械施工, 無し, 無し, 必要	m3	1			単 50号	
WB824010								
合計								
単価							円/m3	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 28号	殻運搬	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 有り, 28.4km以下, 全ての費用	m3	1				
CB227010								
合計								
単価							円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 29号	処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 Co塊(無筋)		Z320100030001	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 30号	現場発生品運搬	積込・荷卸含む	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
現場発生品及び支給品運搬		CB010410	t	1				
現場発生品及び支給品積込・荷卸		CB010420	t	1				
合計								
単価							円/t	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 31号	スクラップ	へび-H1	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	スクラップ へび-H1		t	1				
	Z006730001		t	1				
	合計							
	単価						円/t	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 32号	舗装切断 (参考数量)	舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm を超え30cm以下	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	舗装版切断	アスファルト舗装版, 15cmを超え30cm以下, 全ての費用	m	1				
	CB430510		m	1				
	合計							
	単価						円/m	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 33号	舗装版破碎 (参考数量)	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:20cm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 無し, 必要, 15cmを超え35cm以下, 有り, 全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 34号	殻運搬	殻種別:アスファルト殻(掘削)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎, 機械(対策不要厚15cm超)又は必要, 有り, 7.0km以下, 全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 35号	殻処分	殻種別:アスファルト殻(掘削)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 As塊(掘削)	Z320100022001		m3	1				
合計								
単価							円/m3	

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 36号	不陸整正 (参考数量)	補充材料の有無:無	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
不陸整正	CB410010	無し, 全ての費用	m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 37号	上層路盤(車道・路肩部) (参考数量)	路盤材種類:再生アスファルト安定処理(25), 仕上り厚:100mm	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	上層路盤(車道・路肩部) CB410040	路盤材(瀝青安定処理材各種), 1.4m未満(仕上厚50mm以下), 50mm, プライムコート PK-3, 全ての費用	m2	1				
	上層路盤(車道・路肩部) CB410040	路盤材(瀝青安定処理材各種), 1.4m未満(仕上厚50mm以下), 50mm, タックコート PK-4, 全ての費用	m2	1				
	合計							
	単価							円/m2

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 38号	基層(車道・路肩部) (参考数量)	材料種類:再生粗粒度アスコン(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	基層(車道・路肩部) CB410240	1.4m未満(仕上厚50mm以下), 50mm, 再生粗粒度アスコン(20), タックコート PK-4, 全ての費用	m2	1				
	合計							
	単価							円/m2

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 39号	表層(車道・路肩部) (参考数量)	材料種類:再生粗粒度アスコン(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	表層(車道・路肩部)	1.4m未満(仕上り厚50mm以下), 50mm, 再生粗粒度アスコン(20), タックコート PK-4, 全ての費用	m2	1				
	CB410260							
	合計							
	単価						円/m2	

1次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 40号	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B		人日	1				単 51号
	WB010212							
	合計							
	単価						円/人日	

1次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 41号	建設機械運搬費		単位	台	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	貨物自動車による運搬(1車1回)	路面切削機(砕石・廃材積込付)2.0m, 3km, 無, 無	台	1				単 52号
	WB010010							
	合計							
	単価							円/台

1次単価表(概)

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 42号	橋面防水	防水工種類:塗膜防水	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	塗膜系防水	補修, 無, 有, 28.4m/100m2, 無	m 2	1				単 53号
	WB812920							
	合計							
	単価							円/m2

1次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 43号	交通誘導警備員		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B							単 51号
	WB010212		人日	1				
	合計							
	単価							円/人日

2次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 44号 WB821430	蓋版	据付け,無し,蓋版(各種),40kg/枚以下,無し,無し	単位	枚	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	蓋版コンクリート・鋼製 昼間 40kg以下 制約無 単価補正1.000(FP3)	Q001367001	枚	100				
	側溝蓋 グレーチング	Y000301000001	枚	100				
	諸雑費(まるめ)	ZS3000004	式	1				
	合計							
	単価							円/枚

2次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 45号 WB810010	鉄筋工[市場単価]	SD345 D13, 一般構造物, 10t未満, 無, 無, 無, 無, 補正無(鉄筋割合10%未満含む), 差筋及び杭頭処理	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	Z001102019	t	1.03				
	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物 単価補正1.093 (FP3)	Q001001002	t	1				
	諸雑費(まるめ)	ZS3000004	式	1				
	合計							
	単価							円/t

2次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 46号 WB821210	区画線設置	無し, 溶融式手動, 無し, 実線 15cm, 無し, 1.5mm, 有り, 無し, 含有量15~18%, 白, アスファルト舗装, 全ての費用	単位	m	単位数量	1,000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無 単価補正1.050 (FP3)	Q001036001	m	1,000				[] [2]
	トラフィックペイント 溶融型 3種1号 ビーズ 15~18 白	Z004350001	kg	855				[] [1]
	ガラスビーズ 0.106~0.850mm	Z004352001	kg	25				[] [1]
	接着用プライマー 区画線用	Z004354001	kg	25				[] [1]
	軽油	Z006702002	L	42				[] [1]
	諸雑費(率+まるめ)	ZS8000004	式	1				[1] []
	合計							
	単価							円/m

2次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 47号 WB821210	区画線設置	無し, 溶融式手動, 無し, 実線 45cm, 無し, 1.5mm, 有り, 無し, 含有量15~18%, 白, アスファルト舗装, 全ての費用	単位	m	単位数量	1,000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 実線45cm 制約無 単価補正1.050(FP3)	Q001036010	m	1,000				[] [2]
	トラフィックペイント 溶融型 3種1号 ビース 15~18 白	Z004350001	kg	2,550				[] [1]
	ガラスビース 0.106~0.850mm	Z004352001	kg	75				[] [1]
	接着用プライマー 区画線用	Z004354001	kg	75				[] [1]
	軽油	Z006702002	L	77				[] [1]
	諸雑費(率+まるめ)	ZS8000004	式	1				[1] []
	合計							
	単価							円/m

2次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 48号 WB821210	区画線設置	無し, 溶融式手動, 無し, 破線 15cm, 無し, 1.5mm, 有り, 無し, 含有量15~18%, 白, アスファルト舗装, 全ての費用	単位	m	単位数量	1,000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 破線15cm 制約無 単価補正1.050 (FP3)	Q001036025	m	1,000				[] [2]
	トラフィックペイント 溶融型 3種1号 ビース 15~18 白	Z004350001	kg	855				[] [1]
	ガラスビーズ 0.106~0.850mm	Z004352001	kg	25				[] [1]
	接着用プライマー 区画線用	Z004354001	kg	25				[] [1]
	軽油	Z006702002	L	47				[] [1]
	諸雑費(率+まるめ)	ZS8000004 5%	式	1				[1] []
	合計							
	単価							円/m

2次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 49号 WB821210	区画線設置	無し, 溶融式手動, 無し, 矢印・記号・文字 15cm換算 無し, 1.5mm, 有り, 無し, 含有量15~18%, 白, アスファルト 舗装, 全ての費用	単位	m	単位数量	1,000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 矢印・記号・文字 制約無 単価補正1.050(FP3)	Q001036073	m	1,200				[] [2]
	トラフィックペイント 溶融型 3種1号 ビース 15~18 白	Z004350001	kg	1,026				[] [1]
	ガラスビース 0.106~0.850mm	Z004352001	kg	30				[] [1]
	接着用プライマー 区画線用	Z004354001	kg	30				[] [1]
	軽油	Z006702002	L	126				[] [1]
	諸雑費(率+まるめ)	ZS8000004 5%	式	1				[1] []
	合計							
	単価							円/m

2次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 50号 WB824010	構造物とりこわし	無筋構造物,機械施工,無し,無し,必要	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	無筋構造物 昼間 機械施工 制約無 単価補正1.300 (FP3)	Q001611001	m3	1			
	諸雑費(まるめ)	ZS3000004	式	1			
	合計						
	単価						円/m3

2次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 51号 WB010212	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	交通誘導警備員B	R0804	人	1			
	諸雑費(まるめ)	ZS3000004	式	1			
	合計						
	単価						円/人日

2次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 52号 WB010010	貨物自動車による運搬(1車1回)	路面切削機(ホイル廃材積込付)2.0m, 3km, 無, 無	単位	台	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	貨物自動車基本運賃 20t車以上30t車まで 20kmまで Z006811001		台	1			
	諸雑費(まるめ) ZS3000004		式	1			
	合計						
	単価						円/台

2次単価表

単価使用年月	2026.06
歩掛適用年月	2026.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 53号 WB812920	塗膜系防水	補修, 無, 有, 28.4m/100m2, 無	単位	m 2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	橋面防水工 塗膜系防水(アスファルト系)補修 単価補正1.000(FP3)	Q001572002	m2	100				
	目地材 橋面防水用	Y001141101001	m	29.82				
	諸雑費(まるめ)	ZS3000004	式	1				
	合計							
	単価							円/m 2

特記仕様書（個別工事編）

工事名 舗装修繕工事（久世橋通）

工事場所 京都市南区上鳥羽北花名町他 地内

1 一般事項

第1条（適用）

本工事の施工に当たっては、「設計図書」によるほか、土木請負工事必携（以下「請負工事必携」という。）（令和7年8月京都市）」及び「特記仕様書（全工事共通編）（令和8年4月）」によらなければならない。

なお、本工事施工現場には、必ず請負工事必携、特記仕様書（全工事共通編）及び本特記仕様書を常備しなければならない。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「工事（土木、舗装、樹木等）の仕様書、様式等」参照

請負工事必携・特記仕様書（全工事共通編）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000292439.html>

第2条（受注者希望方式による「クールタイム・シフト工事」の試行）

- 1 本工事は「京都市建設局クールタイム・シフト工事」の対象（受注者希望方式）であり、「京都市建設局クールタイム・シフト工事試行要領」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000354379.html>に基づいて実施する。
- 2 受注者は、実施を希望する場合、実施開始までに、実施期間及び実施内容を発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、その実施内容を反映させること。
- 3 施工計画書提出後に実施の協議が整った場合は、変更施工計画書に、その実施内容を反映させること。

第3条（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局週休2日工事」の対象（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」）であり、「京都市建設局週休2日工事実施要領」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000322908.html>に基づいて実施する。ただし、「通期の週休2日」は必須である。
- 2 受注者は、契約後すみやかに、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施を希望するか否かを、発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施内容を反映させること。
- 3 「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」を達成した場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。
- 4 受注者は、本市が週休2日の推進を目的に受注者に対して実施する「京都市建設局週休2日工事」に関するアンケート調査やヒアリング調査に、随時協力しなければならない。

5 工事標示板に「京都市建設局週休2日工事」である旨を明示すること（様式不問）。

第4条（受注者希望方式による「建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の対象（ただし、受注者希望方式）であり、「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事試行要領」（<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000338803.html>）に基づいて実施する。
- 2 受注者は、契約後速やかに、建設キャリアアップシステムの活用を希望するか否かを、発注者へ通知し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。
- 3 建設キャリアアップシステムの履行状況を確認できた場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

第5条（ウィークリースタンスの実施）

本工事は、ウィークリースタンスの対象である。

実施に当たっては、「京都市建設局ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し、以下の項目について取り組むこととする。

- (1) 休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない。
- (2) 休前日（金曜日等）に新たな依頼をしない。
- (3) 勤務時間外に書類作成等の依頼をしない。
- (4) 昼休みや勤務時間外の打合せを行わない。
- (5) 作業内容に見合った作業期間を確保する。（適正な期限日を設定する。）
- (6) 打合せは Web 会議（ビデオ会議機能）も活用する。

なお、工事の特性を踏まえ、災害等の緊急的な対応、第三者等の要求に伴う対応及び関係機関等との協議による休日又は夜間作業等により、取組が実施できない場合の対処方法（依頼や期限に関する特例、代休、振替休日の措置等）については、受発注者で確認し、共有する。

第6条（前払金）

前払金は、請負代金の40%以内とし、中間前払金は、同様に20%以内とする。なお、前払金保証（中間前払金保証を含む。）について、電子証書の提出を可能とする。

※ 京都市入札情報館ホームページ「契約保証及び前払金保証に係る保証証書の電子化への対応について」参照（<https://www2.city.kyoto.lg.jp/rizai/chodo/info/pdf/2023/shoushodenshika.pdf>）

2 現場条件に関する事項

第7条（現場条件）

本工事の施工に当たっては、下記の現場条件等に留意すること。

- 1 本工事による交通規制の実施に伴い、久世橋通における交通の流れが阻害される可能性がある。適切な施工計画や作業段取り等を計画し、可能な限り渋滞等が生じないように努めること。
- 2 本工事区間には、塔ノ代橋が位置している。長寿命化対策として橋面防水を計画しているが、当該橋りょうは建設から50年以上が経過していることから床版の状況次第で追加対応が必要となる可能性がある。その際は、追加対応等の指示に従うこと。追加対応等については設計変更の対象とする。

第8条（施工時間）

施工時間は、昼間施工とする。ただし、京都府警察と協議の結果、施工時間に変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第9条（工事規制）

- 1 本工事施工箇所は、京都市道路工事調整会規約施行細則第17条に掲げる工事規制のうち、次の各号の規制種別に係る規制路線及び地域内であることから、同条に基づく規制期間及び規制内容を遵守しなければならない。なお、規制範囲は歩車道を含めた全幅とする。

京都市道路工事調整会規約施行細則

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000003649.html>

(1) 年末年始規制

(2) 観光規制

規制種別	規制路線及び地域	規制期間	規制内容
年末年始規制	幹線道路	12月20日～1月5日	規制期間中は、新たな工事に着手し、又は工事区域を拡大してはならない。ただし、道路の仮復旧等、一般交通に開放するための工事はこの限りでない。
	準幹線道路		
	その他道路	12月27日～1月5日	
観光規制	道路工事規制図に記載する地域及び路線	4月1日～5月15日 10月の最終土曜日 ～11月の最終日曜日 (ただし、12月1日が土曜・日曜の場合は12月最初の日曜日まで)	規制期間中は、原則として工事を中止すること

第10条（交通誘導警備員）

- 1 受注者は、当該工事に警備業者の交通誘導警備員を配置する必要がある場合、警備員等の検定等に関する規則（平成17年11月18日国家公安委員会規則第20号）に基づく交通誘導警備検定合格者（1級又は2級）を規制箇所ごとに1名以上配置するものとする。ただし、同規則第2条の規定により、各公安委員会が必要と認める路線・区間以外で、所轄警察署等との打合せの結果、交通誘導警備検定合格者（1級又は2級）以外の配置を認められた場合は、この限りではない。
- 2 受注者は、交通誘導警備検定合格証の写しを監督職員に提出するものとする。
- 3 交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署等の打合せの結果、又は条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配置場所	交通誘導警備員 (1日当たりの編成人数)	編成	昼間・夜間・ 24時間の別	交替要員 の有無
適宜	6名	交通誘導警備員B 5名	昼間	有

- 4 上表において交替要員を有としている配置場所については、作業中は交通誘導警備員を常時配置するものとし、休憩時等における交替要員を考慮するものとする。

3 監督職員の確認に関する事項

第11条（材料確認）

受注者は、次表の材料・資材・製品について、監督職員が臨場のうえ、材料確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に材料等の名称・規格等を記載すること。

受注者は、監督職員が材料確認のために臨場した際、当該材料等の製造者が発行する品質を証明する資料（見本を含む）との照合、搬入された材料等の外観（角欠け、ひび割れ等）、形状、寸法及び数量等の確認を受けなければならない。

ただし、監督職員の確認が机上となる場合、受注者は、当該材料等の外観、形状、寸法（幅、長さ、高さ）及び搬入数量等が判別できる写真記録等の資料（納品書、納品伝票も可）を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該材料等を使用して工事を実施してはならない。

土木工事施工管理基準「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料

材 料・製 品	備 考
プレキャストコンクリート製品 （JIS I類、JIS II類含む）	「品質管理基準及び規格値」 （区分・項目・方法・頻度）
アスファルト合材 （排水性舗装、透水性舗装、プラント再生舗装含む）	「品質管理基準及び規格値」 （区分・項目・方法・頻度）

監督職員の指定に基づき実施する材料・資材及び製品

（「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料以外）

工種・種別等	細 別	材 料・資 材・製 品
雨水枒・マンホール工		グレーチング
橋面防水工		防止剤、目地材

第12条（段階確認）

受注者は、共通仕様書（3-1-1-4）の「表3-1-1 段階確認一覧表」に示す各種別、「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目及び次表の工種・種別等の施工段階において、監督職員が臨場のうえ段階確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に確認内容を記載すること。

ただし、監督職員による確認が机上となる場合、受注者は、施工状況、出来形、品質、不可視部分等の判別ができる施工管理記録（出来形成果表、設計図面との対比図、品質管理記録等）と写真等の資料を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

第13条（立会確認）

受注者は、次表に示す内容について、監督職員と現地で立会を行い、確認するものとし、監督職員が確認するまでは次の作業に進んではならない。

項 目	確 認 方 法・目 的 等
塔ノ代橋の床版上面確認	床版上面の状況を確認し、追加の補修等が必要か判断する。

第14条（品質管理試験）

本工事の施工に伴う品質管理試験の項目や規格値等については、土木工事施工管理基準（品質管理基準及び規格値）に記載しているが、次表の工種、品目・規格等、試験項目における具体的な試験時期・頻度は、同表に記載のとおりとする。

工種	品目・規格等	試験項目	試験時期・頻度	備考
セメント・コンクリート	レディミクストコンクリート 18-8-25(20)BB、 18-8-40BB	塩化物総量規制	打設前、1回※1	約3m3
		単位水量測定	〃	〃
		スランプ試験	〃	〃
		空気量試験	〃	〃
		圧縮強度試験	〃	〃
アスファルト舗装	ポラスアスファルト混合物(13) t=50mm	現場密度試験	10箇所※2	3,000超～10,000m2
アスファルト舗装	再生粗粒度 アスファルト混合物(20) t=50mm	現場密度試験	10箇所※2	3,000超～10,000m2
上層路盤	再生瀝青安定処理(25) t=150mm	〃	3箇所※2	100～3,000m2

※1：1工種当たりの総使用量が50m3未満で、かつ、JISマーク表示認定工場の品質証明書を提出できる場合は、試験を省略することができる。

※2：対象面積が100m2以下は試験を省略でき、100～3,000m2は3か所、3,000超～10,000m2は10か所で試験を行うこと。また、10,000m2越は10,000m2ごとに10か所で試験を行うこと。

なお、同じ材料で施工厚さが異なる場合は、それぞれの厚さごとに実施個数を定めること。

4 建設副産物に関する事項

第15条（建設副産物の適正処理）

1 建設廃棄物が発生する場合の対応

本工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設へ搬出するものとする。

なお、下表は積算上の条件明示であることから施設を指定するものではなく、監督職員の承諾を得て搬出先の変更を行うことができるが、原則として設計変更の対象としない。

また、産業廃棄物が発生する場合は「京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例」（最終改正平成23年4月1日）を遵守すること。

特に、マニフェストを発行して産業廃棄物が適正に処理されたことを確認すること。このとき、受注者が排出業者であることとして保管の義務のあるA、B2、D、E票については、その原本を監督職員へ提示すること。

<産業廃棄物>

建設副産物	受入場所	備考
コンクリート塊 （無筋）	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都府綴喜郡井手町大字井手小字久保48番地の1他	設計運搬距離 L = 23.4 km
アスファルト塊 （掘削）	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都市伏見区横大路松林町18番地の1番地他	設計運搬距離 L = 6.7 km
アスファルト塊 （切削）	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都市伏見区横大路松林町18番地の1番地他	設計運搬距離 L = 6.7 km

2 舗装切断時等において発生する濁水及び粉塵

受注者は、舗装切断時等において発生する濁水を回収し、産業廃棄物（汚泥）として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

また、受注者は、濁水が生じない工法（空冷式等）を採用した場合も、濁水と同様に、吸引する装置の併用など、粉塵飛散防止対策を実施するとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

当初設計には濁水及び粉塵の収集運搬及び処分に掛かる費用は計上していない。濁水処理費等が必要な場合は、設計変更の対象とする。

3 スクラップについて

本工事の施工により発生するスクラップは、下表の条件で積算している。

なお、搬出先は必要な許可を有するものとし、その証明書の写し（搬出先を変更したときのみ）と処分量を明記した証明書（受入確認書等）を監督職員に提出すること。

建設副産物	受入場所	備 考
スクラップ (へビーH1)	京都市南区上鳥羽鉾立町 1	設計運搬距離 L = 0.7 km

第 16 条 (特定建設資材の分別解体等及び再資源化等)

- (1) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(最終改定令和 7 年 6 月 1 日)(以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等及び再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上明示した以下の事項と別の方法であった場合でも設計変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

分別解体等の方法

	工 程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎工(杭基礎等)	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他()	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

※ 特定建設資材廃棄物を排出する場合、再資源化施設等の所在地については、本特記仕様書に示す「建設副産物の適正処理について」に記載のとおりとする。

- (2) 受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再生資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第 18 条に基づき、以下の事項を別に定める 18 条様式に記載し、監督職員に報告すること。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出した場合、18 条に基づく報告を省略することができるものとする。

5 その他事項

第17条（受注者希望型におけるICT活用工事の試行）

- 1 本工事は、「京都市建設局ICT活用工事試行方針（案）」（令和7年8月）（以下「試行方針」という。）及び「京都市建設局ICT活用工事試行要領（案）」（令和7年8月）（以下「試行要領」という。）の内容に従いICT活用工事を試行できる。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「高度情報化」参照
(<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000290097.html>)

- 2 試行の対象工種は「試行方針」に定めた工種とし、「試行要領」の対象工種の詳細に基づき、ICT活用工事を試行できる。
- 3 受注者が試行を希望する場合、契約後施工計画書の提出までに、受注者はICT活用の効果、具体的な工事内容・数量及び対象範囲について、発注者へ提案、協議を行うこと。発注者と協議が整った施工プロセス①～⑤の全て又は何れかの段階で、ICT施工技術を活用できる。

なお、試行の対象工種が土工、舗装工、舗装工（修繕工）の場合は、施工プロセス①、②、③又は②、④、⑤を含む3つ以上の施工プロセスの活用を基本とし、その他のプロセスを含め協議により選定できる。

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元設計データ作成
- ③ ICT建設機械による施工
- ④ 3次元出来形管理等の施工管理
- ⑤ 3次元データの納品

- 4 ICT活用工事の費用については、当初は計上せず、発注者との協議が整った各施工プロセスの段階を設計変更で必要な経費を計上する。受注者は設計変更に必要な見積書を提出すること。
- 5 「試行要領」により有効に試行したことが認められた場合は、工事成績の「創意工夫」及び「工事特性」の項目で加点評価する。ただし、①3次元起工測量の1プロセスのみの活用は除く。

第18条（京都市建設局検査書類限定型工事の検査の試行）

- 1 本工事は、「京都市建設局検査書類限定型工事の検査試行要領」（令和7年7月）に基づく対象工事として、検査を試行することができる。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「工事（土木、舗装、樹木等）の仕様書、様式等」参照
(<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000343988.html>)

- 2 工事の書類検査は、検査時（完成・既済部分・中間）において、下記の8分類に限定して行うことを原則とする。

①施工体制	⑤出来形図書
②施工計画	⑥打合せ簿
③工事材料資料の確認及び 品質規格証明書類	⑦工事写真
④品質管理	⑧電子納品

※1)上記8分類以外の書類も、従来どおり全て監督職員へ提出すること。
※2)検査時に、限定型工事の検査対象書類のみを抜粋するといった、取りまとめを行う必要はない。

※3)以下の工事は書類限定検査の対象外とする。

- ・低入札価格調査の対象となった工事
- ・当該工事で法令遵守等に係る減点対象行為があった場合
(工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表参照)

- 3 検査職員が追加書類を求める場合は、上記8分類以外の追加書類の提出を併せて受注者に通知する。
- 4 実地検査(現場)においては、出来形を確認できる資料を準備すること。
- 5 実施状況や改善点等を把握するためのアンケート調査がある場合には協力すること。

第19条(情報共有システムの利用)

- 1 本工事は、情報共有システム(以下「システム」という。)の利用対象とする。
システムの利用に当たっては、「京都市建設局情報共有システム活用ガイドライン(令和6年3月)(※)」(以下「ガイドライン」という。)を遵守するものとし、ガイドラインの内容を十分に確認したうえで事前協議を行うこと。
- 2 利用するシステムは、ガイドラインで定める要件を満たすシステムの中から、受注者が選定すること。
- 3 システムの利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれており、システム提供者との契約や利用に係る手続等は受注者が行うものとする。
- 4 システムで発議・提出・受理などの処理を行った工事帳票は、「京都市建設局電子納品実施要領」(以下「要領」という。)に基づき作成された仕様の電子データで出力し納品すること。
なお、要領は適宜改正されることから、適宜、京都市情報館を確認すること。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」参照
(<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000280681.html>)

第20条(受注者希望型における遠隔臨場の実施)

本工事は受注者の希望により遠隔臨場を行うものとする。

- 1 目的
本工事は、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領(案)」(令和5年3月)及び「建設現場における遠隔臨場に関する監督・検査実施要領(案)」(令和5年3月)の内容に従い実施するものとする。
- 2 実施内容
 - (1) 「段階確認」、「材料確認」及び「立会」の実施
 - ア 受注者が動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)により撮影する映像と音声を監督職員へWeb会議システム等を使用し、双方向の通信により会話しながら確認する。実施内容については、受発注者間の協議により決定するものとする。
 - イ 遠隔臨場に使用する動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)の資機材は受注者が準備するものとする。ウェアラブルカメラ等の資機材は、使用製品を限定するものではなく、一般的なAndroidやi-Phone等のモバイル端末を使用することも可能である。ただし、監督職員が使用するパ

ソコン等の機器・ネットワーク環境に適合する資機材を使用するものとし、資機材の選定に当たっては監督職員から承諾を得ること。

なお、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の使用は、「段階確認」、「材料確認」及び「立会」だけではなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。

(2) 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査を実施する場合は、調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(3) 費用

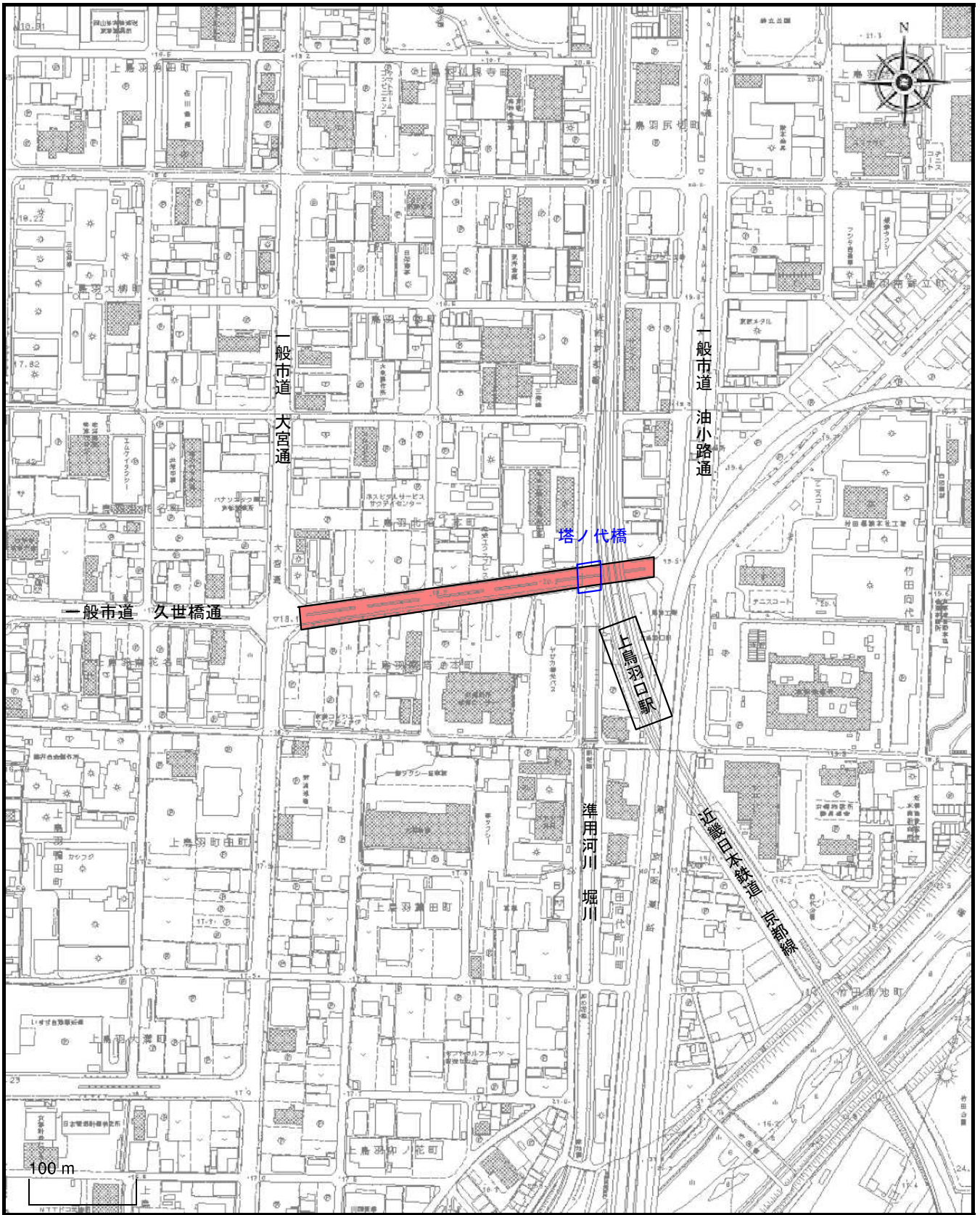
遠隔臨場の実施に掛かる費用については、積上げ計上していないが、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和5年3月）の内容に従い、遠隔臨場の実施に要する費用を設計変更の対象とする。

なお、遠隔臨場の実施方法については、施工計画書提出までの協議において提案するものとする。また、受注者はその費用について見積書を提出するものとする。

(4) 成績評定

遠隔臨場を実施した工事の成績評定は、考査項目「創意工夫」において、1点の加点とする。

箇所図



1 / 5000

凡例

■ : 施工箇所